

文とその構成

主語	動詞	①属詞	②直接目的補語	③間接目的補語	④状況補語
(1) <i>les amis</i>	<i>jouent</i>				
(2) <i>elles</i>	<i>sont</i>	<i>belles</i>			
(3) <i>nous</i>	<i>adorons</i>		<i>le chocolat</i>		
(4) <i>ils</i>	<i>offrent</i>		<i>des biscuits</i>	<i>à Isabelle</i>	
(5) <i>tu</i>	<i>parles</i>			<i>de ton père</i>	
(6) <i>Jacques</i>	<i>vient</i>				<i>à une heure</i>
(7) <i>on</i>	<i>étudie</i>				<i>en lisant</i>
(8) <i>je</i>	<i>mange</i>		<i>le poulet</i>		<i>avec les doigts</i>
(9) <i>il</i>	<i>est élu</i>	<i>président</i>			<i>aujourd'hui</i>
(10) <i>ceci</i>	<i>coûte</i>				<i>cent francs</i>

⇒ フランス語では、節の基本要素は一般的にこの優先順位に従って並ぶ。

① 文 (la Phrase) とは、語がいくつか集まって、まとまった思想を表わすものである。一つまたは数個の節 (la Proposition) からできている。

② 節とは動詞一つに対し作られる単位である。中でもそれだけで独立して意味をなすものを主節といい、単独では意味をなさない節を従属節という。例えば、*Le professeur pense que je sais ma leçon* には二つの動詞がある。つまり二つの節でできた文だが、*Le professeur pense* はそれだけで文として成立する (=主節) のに対し、*que je sais ma leçon* だけでは意味のある文にはならない (=従属節)。

③ 一般には、一つの文は、主語 (le Sujet) に対して動詞 (le Verbe) があり、さらに、属詞 (l'Attribut) 又は目的補語 (le Complément d'objet) [直接目的補語 le Complément d'objet direct, 間接目的補語 le Complément d'objet indirect]、状況補語 (le Complément circonstanciel) が加わって構成されるが、時にはこのような構成のない一語または数語だけのこともある：Silence! (静かに!) Où aller? (どこへゆこう?)。

④ 主語の役目をするのは、名詞・代名詞又は名詞に相当するものである。

⑤ 属詞とは、一般に主語の属性 [性質・状態・職業・身分など] を表している語である。属詞の前にくる動詞は、être, devenir, sembler, paraître の四つに限られる。属詞の役目をはたすものは、名詞・代名詞・形容詞あるいは不定法などである。主語のみでなく、目的補語もまた属詞をとることがある。表の第9例を能動態に変えて、*On l'élit président aujourd'hui* (人は彼を今日会長に選出する) とした場合、*président* は、目的補語 l' (le = 彼を) の属詞と呼ばれる。

⑥ 目的補語には、次の二種類がある (「目的」という語は省略されることが多い) :

(a) → 直接 (目的) 補語 [前置詞なしで動詞にむすびつく補語]

(b) → 間接 (目的) 補語 [前置詞を介して動詞にむすびつく補語]

共に動詞の後におくのが普通で、語順は原則的には、(a) → (b)である。

⑦ 状況補語は、主語の状態つまり場所・移動・時間・手段・原因・目的・価格などを示す。状況補語となるものは、副詞・gérondif [別表]・前置詞つき不定法・名詞・代名詞などである：

→ *À Paris / elle habite / dans un studio / avec son fiancé* (パリで彼女は婚約者とワル・マンソンに住んでいる。)

→ *Le soir / Je regarde la télévision / les yeux grand ouverts* (夜私は目を大きく見開いてテレビを見る。)

→ *L'homme est né / pour travailler* (人間は働くために生まれたのだ。)

→ *Il faut discuter / sérieusement* (真面目に話し合わなければならない。)

→ *On fait des progrès / en se trompant* (人は間違いをすることで成長する。)